



4 議 第 1 3 3 3 号
令和4年11月28日

亀岡市長 桂川 孝裕 様

亀岡市議会議長 福井 英昭

亀岡市議会 政策研究会
(L G B T Q + に関する政策研究)
会 長 浅田 晴彦

L G B T Q + に関する政策提言書 (第二次)

亀岡市議会 L G B T Q + に関する政策研究会は、昨年 1 2 月に、亀岡市として、市役所の中から変えていけることや発信できることなど 3 項目に絞って第一次の政策提言を行いました。

当提言に基づき、相談窓口の開設や職員研修の実施、シンボルマークの決定等をいただく中で、L G B T Q + に関する施策の一層の推進を目指し、本研究会として、さらなる調査研究や意見交換、他市への行政視察等を行い、取りまとめた以下の項目について、第二次の政策提言といたします。

- (1) 担当職員の配置等、体制の充実を検討するとともに、一層の職員意識の徹底と技能向上に努められたい。また、毎年行われている意識調査については、議会からもアンケートへの協力要請を行うので、全職員の意識動向をつかまれたい。
- (2) 市役所の職員更衣室にカーテンで囲ったスペースを配置するなど、プライバシーに配慮する工夫をされたい。
- (3) パートナースhip宣誓制度を使いやすく、選ばれる制度にするために、先進自治体の制度を参考に検証や見直しを行い、よりよいものに拡充されたい。
- (4) シンボルマークを活用した市民向けの啓発や発信、各自治会や企業などにも働きかけた各種イベントを実施されたい。また、積極的協力者(A l l y =アライ)を市民の多数にする取組を展開し、市民が主体的に行動し発信する機運を醸成されたい。
- (5) 学校教育においては、昨今の社会情勢に鑑み、児童生徒や保護者からの相談に、より迅速・丁寧に対応いただくとともに、使いやすい教材を教育委員会として提供されたい。また、トイレや更衣室の環境整備など、学校の施設設備の充実を図られたい。

亀岡市議会 政策研究会 (L G B T Q + に関する政策研究)

浅田晴彦 (会長)、三上泉 (副会長)、赤坂マリア (副会長)、富谷加都子、平本英久、木村勲、三宅一宏、松山雅行、小川克己、木曾利廣、竹田幸生